



亀っ子だより

第45号

— 亀崎小学校 校長通信 —

2021年10月7日

「わたし、少しずつ頑張る」

9月のある日、給食が終わった後、給食室前に立っていると、2年生の女の子が近寄ってきて「私、鉄棒と雲ていが苦手なの。だから、少しずつ頑張る!」と話してくれました。苦手なことを話してくれた女の子に、子どもの純真さを感じました。そして、少しずつ頑張るという言葉がうれしく思いました。できないことをできるようにと少しずつ頑張ることは、簡単そうでなかなかできないことと思っています。ある人が「できないことは恥ずべきことではない。できるように努力しないことが恥ずべきことだ」と言っていました。私もそう思っています。この女の子が、そのことを再確認させてくれた、そんな気持ちになりました。鉄棒と雲ていががんばれ!応援してます。

優しい応援団でした

大放課に1・2年生が運動会の代表リレーの練習を行っていました。そこへ、6年生の応援団が10人ほど練習にやってきました。重い太鼓を2人がかりで運動場まで運び、練習を開始しようとしたので、「1・2年生がリレーの練習をしているので、太鼓はやめてくれる」とお願いすると「分かりました」と答え、太鼓はたたかず、声も小さめで練習してくれました。予鈴が鳴ると、使うはずだった太鼓を職員室まで運び、教室へ戻って行きました。応援団の人たちに申し訳なく思うと同時に、周りの状況を理解して優しい行動をとってくれたこの6年生に感謝しました。優しい応援団の皆さんに感謝、感謝です。

学校訪問に思うこと

「子どもの心に火をつける学校」を目指して、今年で3年目になります。授業でも、運動会でも、係活動でも子どもの心に火をつけて、自ら動き出す仕掛けをしていこうと工夫を凝らしてきました。9月30日(金)半田市教育委員会より鈴川教育長はじめ7人のお客様をお迎えして、学校訪問を行いました。夏休みから準備してきた授業をみんなが公開し、1年2組大川先生と5年1組福井先生が研究授業を行いました。1年2組では子どもたちが「むしむしたんけんたい」になり、大川隊長に向かっての敬礼で授業が始まりました。子どもたちの胸には隊員の名前が書かれた名札があり、子どもたちをやる気にさせる工夫が随所に見られました。5年1組では、消防署、亀崎自主防災会からゲストティーチャーをお招きしたり、現地調査に出かけたり、防災マップを作成したりする単元の授業でした。現地調査を行い、その成果をまとめた防災マップを校内に掲示することが子どもたちのモチベーションを上げているように感じました。公開授業でも、自作の血管模型でコレステロールの危険について説明したり、亀っ子潮干祭で使う自作法被のデザインを考えたり、走り高跳びのフォームを子どもたちがタブレットで撮影し合ったりと、どの授業も子どもたちをやる気にさせる工夫があふれていました。授業で勝負できる教師を目指し、努力してきた先生方の姿に感動した1日でした。

(手前味噌的な内容で申し訳ありません。)



表彰の記録

- 第65回中日本総合女子ソフトボール選手権大会
小学生の部 第3位 半田フェニーズ
滝塚ちえり（6年）原 亜実佳（6年）奥野 倅奈（6年）兼井 梓紗（6年）
澤田 悠乃（6年）澤田 朱璃（3年）
- 令和3年度豊田市民体操競技選手権大会 豊田市体操協会スカイフェスタ 2021
種目別 床 優勝 久野真友香（5年）
- 第2回クリエ全国バレエコンクール安城
J A II 部門 入選 榊原 寛奈（5年）

♣ 子育てアラカルト ♣

[意識]

私たちは、毎日生きています。
誰かの人生を生きているのではないのです。
自分の人生を生きているのです。
今日一日は、あってもなくてもいいという一日ではないのです。
もしも、私たちの命が明日終わるものだったら、
今日という一日がどんなに貴重か分からない。 (三浦綾子「言葉の花束」より)

あなたは、今日をどんな一日にしようとしているのだろうか。
世界にはたくさんの子どもがいるが、命や食事の心配をしないで学校に来ることができる子どもは10数%だと言うことを知っているだろうか？
もう一度言う。あなたは、今日をどんな一日にしたい？
あなたが考えた以上のいい日には、きっとならないだろう。
だから、できるだけいいことを考えるのだ。

あなたの顔は、人に伝染しても大丈夫な顔だろうか？
周りの人を幸せにできる顔だろうか？
自分のためだけにあくせくしていないだろうか？
自分のために一生懸命にあくせくしていけないと言っているのではない。
ただ、「自分のためだけに」あくせくするには、あまりにももったいない「命」、
あまりにももったいない「一日」だと言っているのだ。
あなたの命は、あなたの思いを超えて生まれてきた。

私たちは、毎日生きている。
誰かの人生を生きているのではない。
自分の人生を生きているのだ。
でも、それは「自分だけの人生」ではない。

あなたの命は、あなたの思いを超えて生まれてきた。
あなたの家族や友達の「笑顔」が見たい？
それとも「悲しい顔」「怒った顔」「困った顔」が見たい？
あなたの笑顔を見るだけで、周りの人は「やすらぎ」をおぼえる。
「笑顔」は自分のためだけのものではないのだ。
あなたは、今日一日をどんな顔で過ごすつもりだろうか？

(ある教育者のひとり言 より)